

自然教室だより

佐保台小学校 校庭の自然観察会実施報告

6月22日(水)午後2時半より午後4時まで佐保台小学校にて、恒例となった「校庭の自然観察会」と「自然工作」を実施しました。今年は去年の実績(51名)を大きく上回る72名の参加となり、当方スタッフもそれに合わせ急遽大募集、17名の陣容で臨みました。当日は、いつ雨が降り出してもおかしくない不安定な天気。子供達も傘を携えての参加となりました。



【さあ出発、皆でエイエイオー!】

しかし、全員の熱い思いが通じ雨雲もどこへやら、観察会終了まで傘の世話にならずに済みました。

今年の観察ポイントの数は全部で5つ。去年も観察したマツとドングリは切り口を変え、マツについてはマツの葉の不思議、ドングリについては色々なグループ分けが出来る事の説明。



【マツの葉の不思議】

準備した実物見本や写真を見せると、興味津々「へ〜」と言う声があちこちから聞こえました。

3つ目のポイントは、「草いくつ?」。普段は雑草として見過ごされてしまう野草に目を向け、仲良く逞しく生きる姿を学んでもらいました。



【草いくつ?】

4つ目のポイントでは植物に加えメダカを取り入れました。私たちシニア世代にとっては子供の頃の思い出となる懐かしい遊び相手。説明にも自ずと力が入ります。



【メダカの不思議】

5つ目のポイントは手鏡を使って鳥や昆虫の目線を体感するミラーウォーク「不思議な散歩」。

どの子も「キャッ、キャッ」と騒いで文字通り不思議な気分。校庭での「不思議な散歩」を楽しんでくれました。



【不思議な散歩】

自然観察を終えると次は室内に場所を変え、自然物を材料にした工作の時間。ここではならやまで育てたジュズダマが威力を発揮してくれました。みんな思い思いの材料でプレスレット作りに励んでくれました。



【ジュズダマで自然工作】

大分手こずった子もいましたが、チームワーク良く年長の子が手伝ってくれていたのが印象に残ります。

そして最後は全員で「めだかの学校」と「ドングリコロコロ」を大合唱。「ドングリコロコロ」の歌詞はドングリが泣いてドジョウを困らせる2番で終わりですが、自然教室チームメンバーの山本(美)さんが、やさしいコリスやハトさんが出てきてドングリを無事山に戻す3番、4番の歌詞を紹介してくれました。子供達もそれを聞いて納得。大満足の大合唱で楽しい自然観察会の幕を閉じました。ご協力頂いたスタッフの皆様、お疲れ様。本当にありがとうございました。(辻本信一)